

プロジェクト進捗報告(月次)

プロジェクト名:「女子にやさしい教育環境のための地方政府による学校の月経衛生管理(MHM)導入支援」



ジェンダーユニットとのプロジェクト協議会合後の集合写真 (2026年1月30日)

報告期間: 2026年1月1日～31日

作成者: Global Bridge Network(グローバルブリッジネットワーク)

第Ⅰ部: 概要

本プロジェクト「地方自治体の下で学校における生理衛生管理(MHM)を導入し、女子にやさしい教育環境を整備する支援」は、2025年11月1日に正式に開始された。対象地域はワキソ地区ナンサナ市で、ナンサナ、ナブウェル、ブスクマ、ゴンベの4行政区(Nansana, Nabweru, Busukuma、

Gombe)を含み、ベースライン調査対象校は30校である。

地方自治体職員のアセスメントは完了し、1月末までにデータ入力も完了した。学校のアセスメントは一部完了しており、現在も継続中である。これは2026年2月末までに完了予定である。

第Ⅱ部: 今月の主な活動と成果

活動コード	実施内容と今後の方針
ベースライン調査・評価	<ul style="list-style-type: none"> - ベースライン調査とアセスメントは2025年11月に開始され、一部完了しているが、現在も継続中である。 - 地方自治体職員のアセスメントおよびデータ入力は完了した。 - 学校のアセスメントも継続中であり、学校の休暇明けの2026年2月10日より再開し、2月末までにデータ入力を完了予定である。 - 保護者(父・母)および地域住民へのインタビューは、2026年2月第2週から第3週の間に開始予定である。 <p>その他実施した活動</p> <ul style="list-style-type: none"> - ジェンダーユニットを訪問し、第2回インセプションミーティングを実施し、Evelyn氏およびDoreen氏を含む担当官と面会した。チームは研修時に使用するプロジェクト教材について助言を受け、これらの教材はまず National Curriculum Development Centre (NCDC) による承認プロセスを経る必要があることが明確にされた。しかしながら、教材が公的承認を受けるには時間を要するため、その間は Ministry of Education and Sports (MoES) が既に開発・承認しているMHM教材を、学校での指導および研修に活用するよう助言を受けた。 - H&FメディカルセンターにMHMセンターを設置し、MoU(覚書)を締結した。GBNの活動拠点として健全な業務環境を整備することを目指している。
活動1. 学校MHM導入のためのツールと研修プログラム開発	<p>1-1) 「Happy MHM(月経衛生管理)センター」を設立し、情報共有・ネットワーク・研修・布ナプキン販売を行う予定。候補地を検討済みで、今後公式訪問を行い最適地を決定。</p> <p>候補地:</p> <ul style="list-style-type: none"> - MHM情報共有、ネットワーキング、研修、Happy Padsの販売を行う拠点として「Happy MHMセンター」を設立。H&Fメディカルセンターが公式な設置場所として選定され、2026年2月1日付でMoUが締結された。 <p>1-2) 「学校MHMマニュアル」「MHMブックレット」「布ナプキン作りマニュアル」を開発中。完成後、学校および地方政府に配布予定(紙・デジタル両方)。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> - 「School MHMマニュアル」「パッド製作マニュアル」「MHMブックレット」等のツールを開発中であり、現在ドラフトをGBNチーム内でレビュー中である。 - これらは2026年2月中の完成を予定している。 1-3) トレーナー認定研修プログラムの準備 - これらのツールを用いた学校MHMおよび布ナプキン製作の専門トレーナー育成プログラムは、ジェンダーユニットとのMHM研修実施後に作成予定である。
--	---

第三部: 課題と対策

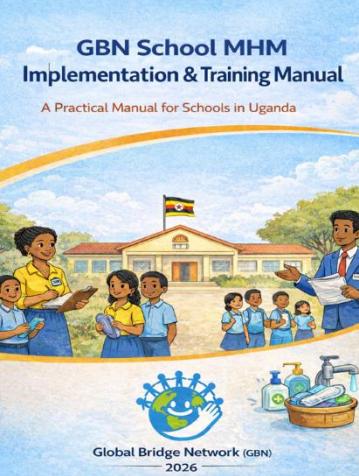
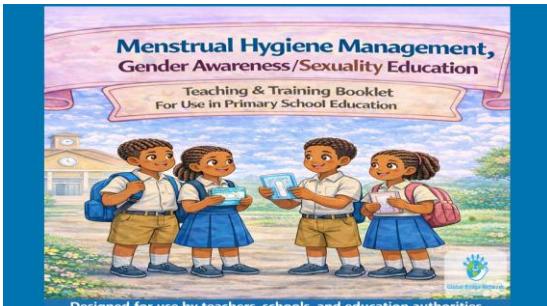
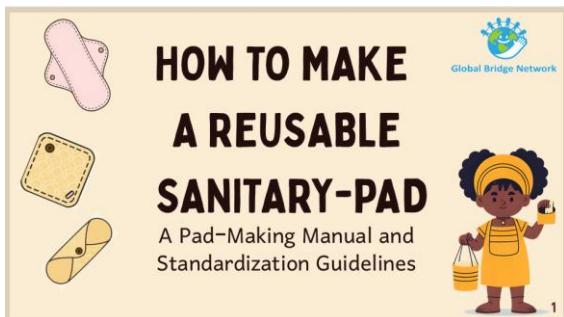
課題	対策
2026年1月15日から2月6日まで続く選挙活動期間により、現場活動への影響が生じた。	スタッフ内で、現場活動時には十分注意するよう徹底した。
前Municipality Education OfficerであるMr. Lwangaは、2026年1月23日に正式に職務を引き継いだ上で退職した。ステークホルダーのStart upミーティングにおいて、教育・スポーツ部門職員は既に本プロジェクトについて共有され、協力体制が整っている。 退職後もMr. Lwangaは、プロジェクトが円滑に実施されるよう技術的助言を継続する意向を示している。プロジェクトは引き続きMunicipalityとのMoUに基づき実施される。	後任のMr. Katongole (School Inspector)も主要パートナーであり、継続的な支援を得ている。
1月12日から26日までの全国的なインターネット遮断により、主な連絡手段であるWhatsAppが使用できず、コミュニケーションに影響が出た。	1月26日に公式に復旧し、現在は通常業務に戻っている。

第四部: 来月の予定活動とタイムライン

活動	期限
ベースライン調査と評価	2026年2月末まで(継続)
活動1: 学校MHMのためのツール開発とトレーニングプログラム 1-1) MHM情報の共有、ネットワーキング、研修、布ナプキン販売のための中心的な場所(ハッピーム HMセンター)を設立 - センタースタッフの役割および運営体制の確定	-2026年1月1週目まで

- センター運営・アウトリーチスタッフの採用 - パッド製作担当のティラー採用 - ミシンの設置 - パッド製作研修の計画(2月第3週)	-2026年1月1週目まで -2026年1月1週目まで -2026年1月1週目まで -2026年1月3週目まで
1-2) ツール開発(学校MHMマニュアル、MHMブックレット、布ナプキン作成マニュアル)	ツール開発は2月中旬にドラフト完成、ジェンダーユニットおよびナンサナ地方自治体にレビュー依頼し、2月末に完成予定。
1-3) 学校月経衛生やナプキン作成におけるトレーナー研修プログラム作成(1-2で作成したツールを使う)	2月9日に新MEO Mr. Katongoleと面会し、政府職員向け研修の日程を協議予定。

第V部: 活動写真

	
ジェンダーユニットとの会合	開発ツール(学校MHM マニュアル)
	
開発ツール(MHMブックレット)	開発ツール(布ナプキン作成マニュアル)